

日ラグ協発第 20-569 号

令和 3 年 2 月 28 日

関東ラグビーフットボール協会  
理事長 大原 俊一 様  
関西ラグビーフットボール協会  
理事長 松原 忠利 様  
九州ラグビーフットボール協会  
理事長 御領園 昭彦 様

専務理事承認済・押印省略

(公財) 日本ラグビーフットボール協会  
専務理事 岩渕 健輔

第 7 6 回 国民体育大会ブロック代表の選考方法について (通達)  
ブロック予選中止の場合

平素は、ラグビー事業に多大なるご協力を賜り、また標記大会に関しては、コロナ感染症の影響のなか、事前の準備にご尽力いただきますこと深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大とその影響は、政府の非常事態宣言が発令され、予断を許す状況にはないと考えております。本件につきまして、日本ラグビーフットボール協会内で検討いたしました。その内容とともに、ブロックの選出につきまして、下記のようにご案内します。

貴支部協会におかれましては、所属都道府県協会を含めて、周知徹底頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 少年男子、三支部協会とブロック開催都道府県協会によるチーム選出
2. 成年男子、三支部協会とブロック開催都道府県協会によるチーム選出
3. 女子の部、三支部協会とブロック開催都道府県協会によるチーム選出

以上

## 国民体育大会におけるブロック代表選出に関する指針

【日本ラグビーフットボール協会】

### 経緯

国民体育大会の出場は、各ブロック予選の実施その結果によって選出される。

### 選出チーム基準の明確化

過去の戦績及び各地域の事情を踏まえ、ブロックを代表するに相応しいチームの選出方法を検討。

選出する際、以下に注視する。

- 1.選抜されるブロック代表チームの競技力ができる限り拮抗している。
- 2.公平な尺度や根拠をもって選出される。

いずれの場合の選出においても、その結果ならびに過程を克明に記録に残し、日本協会に報告する必要がある。